

県がん対策推進計画の
取組状況について
(進捗管理)

「鹿児島県がん対策推進計画」(R6～11)理念・全体目標・分野別施策

理 念

共に支え合い、誰一人取り残さないがん対策を推進し、すべての県民とがんの克服を目指す。

全 体 目 標

①科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実

～がんを知り、がんを予防すること、がん検診による早期発見・早期治療を促すことで、がん罹患率・がん死亡率の減少を目指す～

②患者本位で持続可能ながん医療の提供

～適切な医療を受けられる体制を充実させることで、がん生存率の向上・がん死亡率の減少・全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質の向上を目指す～

③がんとともに尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

～がんになっても安心して生活し、尊厳を持って生きることのできる地域共生社会を実現することで、全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質の向上を目指す～

分 野 別 施 策

①科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実 〈がん予防〉

- がんの1次予防
 - ・生活習慣について
 - ・感染症対策について
- がんの2次予防(がん検診)
- 精度管理

②患者本位で持続可能ながん医療の提供 〈がん医療の充実〉

- がん医療提供体制等
 - ・医療提供体制の均てん化・集約化について
 - ・がんゲノム医療について
 - ・手術療法・放射線療法・薬物療法・支持療法の充実について
 - ・チーム医療の推進について
 - ・がんのリハビリテーションについて
 - ・がんと診断された時からの緩和ケアの推進について
 - ・妊孕性温存療法について
- 希少がん及び難治性がん対策
- 小児がん及びAYA世代のがん対策
- 高齢者のがん対策

③がんとともに尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築 〈がんとの共生〉

- 相談支援及び情報提供
- 社会連携に基づく緩和ケア等のがん対策・患者支援
- 患者会等の支援
- がん患者等の社会的な問題への対策(サバイバーシップ支援)
 - ・就労支援について
 - ・アピアランスケアについて
 - ・がん診断後の自殺対策について
 - ・その他の社会的な問題について
- ライフステージに応じた療養環境への支援
 - ・小児・AYA世代について
 - ・高齢者について

これらを支える基盤の整備

○ がん研究

○ 人材育成の強化

○ がん教育及びがんに関する知識の普及啓発

○ がん登録の利活用の推進

○ 患者・市民参画の推進

○ デジタル化の推進

鹿児島県がん対策推進計画

【全体目標】〈3項目〉

	目標項目	評価指標
1	科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実 ～がんを知り、がんを予防すること、がん検診による早期発見・早期治療を促すことで、がん罹患率・がん死亡率の減少を目指す～	・12年間で、全がんの年齢調整死亡率（75歳未満）の20%減少（※1） ・個別目標（19項目）の達成
2	患者本位で持続可能ながん医療の提供 ～適切な医療を受けられる体制を充実させることで、がん生存率の向上・がん死亡率の減少・すべてのがん患者及びその家族等の療養生活の質の向上を目指す～	・12年間で、全がんの年齢調整死亡率（75歳未満）の20%減少（※1） ・現在自分らしい日常生活を送れていると感じる患者の割合（※2） ・個別目標（13項目）の達成
3	がんとともに尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築 ～がんになっても安心して生活し、尊厳を持って生きることのできる地域共生社会を実現することで、すべてのがん患者及びその家族等の療養生活の質の向上を目指す～	・現在自分らしい日常生活を送れていると感じる患者の割合（※2） ・個別目標（16項目）の達成

※1 全がんの年齢調整死亡率（75歳未満）の現状について

	基準値（H27年）	R4年（現計画策定時）	R5年（現状）	目標（R11年）
全体	79.4	66.8	65.6	63.5
男性	100.7	82.5	81.2	80.6
女性	59.6	51.5	51.1	47.7

※基準値から20%減少させることを目標とする。

※2 現在自分らしい日常生活を送れていると感じる患者の割合

R5年（現状）	目標（R11年）
52.5%	60%以上

個別目標の取組状況の詳細は次ページから

「第4期鹿児島県がん対策推進計画ロジックモデル・評価指標」と現状値

【個別目標】〈55項目〉

分野別施策	個別施策 (具体的な取組 No.)	中間アウトカム	中間アウトカム指標							
			指標			計画策定時	現状値	目標値	データソース	
がんの 1次予防	○生活習慣の改善に向けた普及啓発 (No. 1-2)	生活習慣の改善	1	1日あたりの食塩摂取量の平均値（20歳以上）			10.2g (R4)	—	7g	県民健康・栄養調査
			2	1日あたりの野菜摂取量の平均値（20歳以上）			271.4g (R4)	—	350g	県民健康・栄養調査
			3	1日あたりの果物摂取量の平均値（20歳以上）			93.3g (R4)	—	200g	県民健康・栄養調査
			4	運動習慣者（1日30分以上の運動を週2回以上実施し、1年以上継続している者）の割合	20～64歳	男性	17.3% (R4)	—	30%	県民健康・栄養調査
						女性	9.5% (R4)	—	30%	県民健康・栄養調査
					65歳以上	男性	33.1% (R4)	—	50%	県民健康・栄養調査
						女性	23.6% (R4)	—	50%	県民健康・栄養調査
			5	睡眠で休養がとれている者の割合（20歳以上）			82.4% (R4)	—	90%	県民健康・栄養調査
			6	生活習慣病（NCDs）のリスクを高める量を飲酒している者の割合（男性：40g以上、女性20g以上の者の割合）	男性	13.3% (R4)	—	12%	県民健康・栄養調査	
					女性	7.4% (R4)	—	5%	県民健康・栄養調査	
	○20歳未満の飲酒及び喫煙防止に係る啓発（No. 3-5）		7	20歳以上の喫煙者の割合			12.9% (R4)	—	12%	県民健康・栄養調査
			8	20歳未満で飲酒をしている者の割合	高3	男子	0.8% (R4)	—	0%	県民健康・栄養調査
						女子	0.2% (R4)	—	0%	県民健康・栄養調査
			9	20歳未満で喫煙している者の割合	中1	男子	1% (R4)	—	0%	県民健康・栄養調査
						女子	0.8% (R4)	—	0%	県民健康・栄養調査
					高3	男子	1.5% (R4)	—	0%	県民健康・栄養調査
						女子	0.4% (R4)	—	0%	県民健康・栄養調査
	○妊娠中の喫煙防止に係る普及啓発（No. 6）		10	妊娠中の喫煙をしている者の割合			1.8% (R3)	—	0%	乳幼児健康診査問診回答状況
	○受動喫煙対策の推進（No. 7-8）		11	受動喫煙の機会を有する者の割合	職場	29.1% (R4)	—	望まない受動喫煙のない社会の実現	県民健康・栄養調査	
					家庭	7.8% (R4)	—		県民健康・栄養調査	
					飲食店	20.2% (R4)	—		県民健康・栄養調査	
	○ウイルス等検査の受診促進 ○ワクチン接種に係る普及啓発 (No. 9-12)		12	肝炎ウイルス検査受診者数	B型	470,436人 (R3)	484,630人 (R4)	56万人以上	感染症対策課調べ	
					C型	410,427人 (R3)	424,640人 (R4)	50万人以上	感染症対策課調べ	
					13	HPVワクチン定期予防接種実施率（3回目）			15.5% (R4)	15.8% (R5)

最終アウトカム		最終アウトカム					
		指標		計画策定時	現状値	目標値	データソース
がん罹患率の減少	19	全がんの年齢調整罹患率	全体	381.7 (R1)	370.4 (R2)	減少	全国がん登録
			男性	439.9 (R1)	428.1 (R2)		
			女性	337.8 (R1)	327.4 (R2)		



最終アウトカム		最終アウトカム指標					
		指標		計画策定時	現状値	目標値	データソース
がん死亡率の減少	1	全がんの年齢調整死亡率 (75歳未満)	全体	66.8 (R4)	65.6 (R5)	63.5	国立がん研究センター 「がん統計」 (人口動態統計)
			男性	82.5 (R4)	81.2 (R5)	80.6	
			女性	51.5 (R4)	51.1 (R5)	47.7	

がんの 2次予防	○市町村、医療機関、関係団体、民間企業等と連携した受診促進の普及啓発 ○検診を受けやすい環境整備 (No. 13-20)	がん検診受診率の向上	14	がん検診受診率 (対象：40～69歳、子宮頸がんのみ 20～69歳) ※胃・大腸・肺は過去1年、乳・子宮頸は過去2年	胃	40.6%(R4)	—	60%	国民生活基礎調査
					大腸	44.0%(R4)	—		国民生活基礎調査
					肺	51.4%(R4)	—		国民生活基礎調査
					乳	49.8%(R4)	—		国民生活基礎調査
					子宮頸	47.5%(R4)	—		国民生活基礎調査
			15	(罹患者数が急増する)40歳代・50歳代の乳がん検診受診率 ※過去2年	40歳代	55.9%(R4)	—	60%	国民生活基礎調査
50歳代	48.6%(R4)	—			国民生活基礎調査				
16	(罹患者数が急増する)20歳代・30歳代の子宮頸がん検診受診率 ※過去2年	20歳代			30.0%(R4)	—	国民生活基礎調査		
		30歳代			54.5%(R4)	—	国民生活基礎調査		
		精度管理			○精密検査実施医療機関の登録 ○検診事業評価チェック (No. 21-24)	精度の高い検診の実施	17		市町村検診における精密検査受診率（上限74歳）
胃	91.5%(R3)		90.3%(R4)	95%				健康増進課調べ	
肺	93.6%(R3)		93.3%(R4)					健康増進課調べ	
乳	94.8%(R3)		94.6%(R4)					健康増進課調べ	
子宮頸	92.8%(R3)		91.1%(R4)					健康増進課調べ	
18	(罹患者数が急増する)20歳代・30歳代の市町村検診における子宮頸がん精密検査受診率		20歳代	89.1%(R3)			91.7%(R4)	95%	健康増進課調べ
		30歳代	94.0%(R3)	91.3%(R4)	95%	健康増進課調べ			

最終アウトカム		最終アウトカム指標					
		指標		計画策定時	現状値	目標値	データソース
がん死亡率の減少	1	全がんの年齢調整死亡率 (75歳未満)	全体	66.8 (R4)	65.6 (R5)	63.5	国立がん研究センター 「がん統計」 (人口動態統計)
			男性	82.5 (R4)	81.2 (R5)	80.6	
			女性	51.5 (R4)	51.1 (R5)	47.7	

「第４期鹿児島県がん対策推進計画ロジックモデル・評価指標」と現状値

分野別施策	個別施策 (具体的な取組 No.)	中間アウトカム	中間アウトカム指標					
			指標	計画策定時	現状値	目標値	データソース	
がん医療の 充実	○がん医療の均てん化及び集約化の推進 (No. 25-27) ○がんゲノム医療提供体制の整備推進 (No. 28) ○各治療法の充実 (No. 29-33) ○チーム医療及びがんのリハビリテーションの推進 (No. 34-37)	がん診療の質の向上・均てん化	20	がんの診断・治療全般の総合評価（平均点）	7.5点 (R5)	—	8点	がん患者状況等調査
			21	ゲノム情報を活用したがん医療について知っていると回答した患者等の割合	45.9% (R5)	—	50%	がん患者状況等調査
			22	本人又は家族が納得いく治療を選択することができたと回答した患者等の割合	77.6% (R5)	—	80%	がん患者状況等調査
			23	医療スタッフ間で患者に関する情報が十分に共有されていると感じた患者等の割合	68.6% (R5)	—	70%	がん患者状況等調査
			24	拠点病院等におけるリハビリテーションに係る専門医療従事者数	理学療法士 147人 (R4)	110人 (R5)	147人以上	健康増進課調べ
				作業療法士 75人 (R4)	55人 (R5)	75人以上	健康増進課調べ	
	○がん診断時から緩和ケアが提供される体制の整備 (No. 38-43) ○妊孕性温存等に関する支援 (No. 44-46) ○多様なニーズに対応可能な相談支援体制の整備 (No. 50-55) ○地域・介護等との連携体制の整備 (No. 56)	患者・家族のＱＯＬの向上（苦痛の緩和）	25	拠点病院等における医師（がん等の診療に携わる医師・歯科医師）の緩和ケア研修修了割合	85.1% (R4)	88.2% (R5)	90%	健康増進課調べ
			26	拠点病院等における医師・歯科医師以外の医療従事者の緩和ケア研修修了者数	48人 (R4)	94人 (R5)	50人	緩和ケア研修会実施報告
			27	痛みや身体的な苦痛を抱える患者の割合	70.0% (R5)	—	60%以下	がん患者状況等調査
			28	精神心理的な苦痛（気持ちのつらさ）を抱える患者の割合	62.4% (R5)	—	55%以下	がん患者状況等調査
			29	治療開始前に生殖機能への影響に関する説明を受けた患者等の割合（患者40歳未満が対象）	29.4% (R5)	—	50%以上	がん患者状況等調査
			30	小児がん患者の長期フォローアップ外来を開設している拠点病院等の数	3医療機関 (R4)	3医療機関 (R5)	6医療機関	健康増進課調べ
			31	多職種からなるＡＹＡ世代チームを設置している拠点病院等の数	6医療機関 (R4)	8医療機関 (R5)	13医療機関	拠点病院等現況報告
			32	地域の医療機関や在宅療養支援診療所等の医療・介護従事者とがんに関する医療提供体制等について情報共有し、役割分担や支援等について検討を行う連携体制を整備している拠点病院等の割合	100% (R4)	100% (R5)	100%	拠点病院等現況報告
がんとの 共生	○相談支援センターの普及啓発及び利用促進 ○ピア・サポーターによる相談体制の整備 (No. 57-66) ○緩和ケアを含む在宅医療・介護サービスの提供体制の推進 (No. 67-71) ○患者会及び活動等の周知支援 (No. 72-74) ○治療と仕事の両立支援 (No. 75-77) ○アピアランスケアに係る相談支援・情報提供の構築 (No. 78-79) ○がん患者の自殺リスクに対する相談支援体制の整備 (No. 80-81 (89)) ○がんに対する正しい理解の促進 (No. 82-88) ○在宅療養環境の整備 ○ＡＣＰの普及啓発 (No. 89-94)	相談支援及び情報提供の充実	33	拠点病院等における相談員基礎研修修了者数（国立がん研究センターによる相談支援センター相談員基礎研修全課程）	47人 (R4)	51人 (R5)	47人以上	健康増進課調べ
			34	がん相談支援センターについて知っている患者等の割合	57.4% (R5)	—	65%以上	がん患者状況等調査
			35	拠点病院等及び指定病院の相談支援センターにおける年間相談件数	27,327件 (R4)	23,443件 (R5)	30,000件	拠点病院等現況報告
			36	患者サロンにおいてピア・サポーターを活用している拠点病院等の数	4医療機関 (R5)	7医療機関 (R5)	8医療機関	健康増進課調べ
	在宅医療・介護等との連携体制の充実	患者・家族のＱＯＬの向上（社会的問題の解消）	37	がん治療前に、セカンドオピニオンに関する説明を受けた患者等の割合	41.3% (R5)	—	45%以上	がん患者状況等調査
			38	24時間体制訪問看護ステーションの割合	85.2% (R2)	93.8% (R4)	92.7% (R8)	高齢者生き生き推進課調べ
			39	患者会の活動内容やその役割についての周知を図り、がん患者や家族等による啓発活動や生きがい、仲間づくり等の活動が発展・充実するように支援	実施 (R4)	実施 (R5)	継続実施	—
			40	治療中に、職場や仕事上の関係者から治療と仕事を両立するための勤務上の配慮があったと回答した患者の割合	69.1% (R5)	—	73%	がん患者状況等調査
			41	治療開始前に就労継続について説明を受けた患者等の割合	37.6% (R5)	—	40%以上	がん患者状況等調査
			42	外見の変化に関する悩みを相談できた患者等の割合	49.1% (R5)	—	55%以上	がん患者状況等調査
			43	アピアランスケア支援（医療用ウィッグ等）に係る助成事業を実施している市町村数	35市町村 (R5)	ウィッグ等： 41市町村 乳房補整具： 28市町 (R6)	43市町村	健康増進課調べ
			44	自殺リスクに関する研修を実施した拠点病院等の数	3医療機関 (R4)	6医療機関 (R5)	6医療機関	拠点病院等現況報告
	45	つらい症状には（医療スタッフが）速やかに対応してくれたと感じている患者の割合	76.2% (R5)	—	80%以上	がん患者状況等調査		
	46	（家族以外の）周囲からがんに対する偏見を感じる患者等の割合	23.4% (R5)	—	12%以下	がん患者状況等調査		
ライフステージに応じた療養環境支援の充実	47	がん患者に対して在宅医療を提供する医療機関数	239医療機関 (R5)	238医療機関 (R6)	239医療機関以上	在宅がん医療総合診療科の届出施設数		
	48	アドバンス・ケア・プランニングに取り組んでいるがん診療を行う医療従事者の割合	51.0% (R5)	—	56%	がん患者状況等調査		
基盤の整備	○地域のがん医療を担う人材の育成 (No. 97-100) ○学校におけるがん教育の推進 ○県民へのがんに関する知識の普及啓発 (No. 101-108) ○がん登録の推進 (No. 109-114) ○患者・市民参画の推進 (No. 115) ○オンラインでも対応可能な相談体制の整備 (No. 116-117)	専門人材の増加	49	新九州がんプロ養成プラン（鹿児島大学）における３コース修了者数（事業実施：令和５年度～10年度）	—	0人 (R5)	95人 (R10)	鹿児島大学計画
			がんに関する正しい理解の促進	50	外部講師を活用してがん教育を実施した学校の割合	26.8% (R4)	30.3% (R5)	35%
		51		県がん対策推進企業等連携協定を締結した企業数	15社 (R5)	15社 (R6)	20社	健康増進課調べ
		がん登録の精度向上	52	がん登録精度を示すM I 比（がん死亡数のがん罹患数に対する比）	0.39 (R1)	0.41 (R2)	0.4～0.45	全国がん登録
			53	がん登録精度を示すD C O 率（死亡情報のみで登録された患者の割合）	3.1% (R1)	2.7% (R2)	2%以下	全国がん登録
		患者等の参画	54	県がん対策推進協議会への患者を代表する委員の参画	参画	参画	参画	—
		相談支援へのアクセス向上	55	がん患者やその家族等の相談支援について、必要に応じてオンラインでの相談を受け付けるなど、情報通信技術等も活用している拠点病院等の数	9医療機関 (R4)	10医療機関 (R5)	13医療機関	拠点病院等現況報告

最終アウトカム	最終アウトカム指標					
	指標		計画策定時	現状値	目標値	データソース
がん死亡率の減少	1 全がんの年齢調整死亡率（75歳未満）	全体	66.8 (R4)	65.6 (R5)	63.5	国立がん研究センター「がん統計」（人口動態統計）
		男性	82.5 (R4)	81.2 (R5)	80.6	
		女性	51.5 (R4)	51.1 (R5)	47.7	
全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質の向上	2	現在自分らしい日常生活を送れていると感じる患者の割合	52.5% (R5)	—	60%以上	がん患者状況等調査

最終アウトカム	最終アウトカム指標					
	指標		計画策定時	現状値	目標値	データソース
全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質の向上	2	現在自分らしい日常生活を送れていると感じる患者の割合	52.5% (R5)	—	60%	がん患者状況等調査